

武力攻撃事態とは？（国民保護）

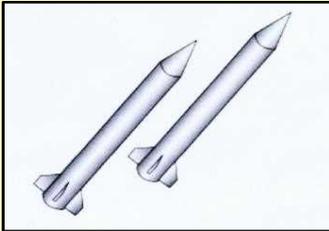
有事を想定した備えの必要性

- 外国からの武力攻撃やテロ攻撃は、いつ発生するかわかりません。
- こうした事態に遭遇した場合、どのように対応したらいいのかなど、日頃から有事に備えて準備をしておきましょう。

武力攻撃事態の種類と対策

武力攻撃事態は4つに分類されており、それぞれの攻撃事態が発生した場合の対策については、下記のとおりです。

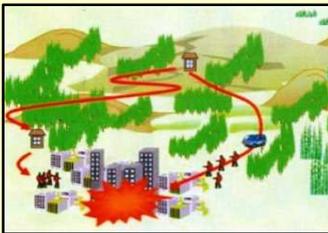
弾道ミサイル攻撃



【特徴】 発射前に着弾地域を特定することが極めて困難で、短時間での着弾が予想されます。

【対策】 発射直後は屋内へ避難し、その後、行政機関からの指示に従い適切な避難を行う。なお、屋内に避難する場合は、可能な限り堅牢な建物（コンクリート製等）に避難しましょう。

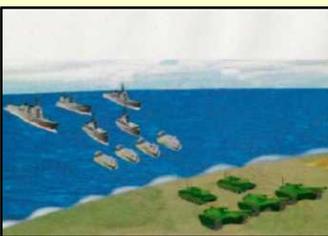
特殊部隊等による攻撃



【特徴】 突発的に被害が発生し、一般的には、被害は比較的狭い範囲に限定されます。また、攻撃には、核・生物・化学兵器などの使用も考えられます。

【対策】 突発的な被害の発生が考えられるので、攻撃当初は一旦屋内に避難し、その後、行政機関の指示に従い適切に避難しましょう。

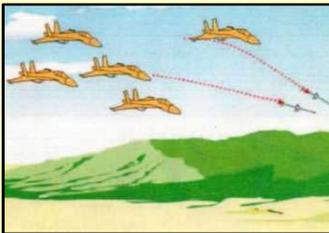
着上陸侵攻



【特徴】 船舶による上陸は沿岸部が侵攻目標、航空機による場合は沿岸部に近い空港が攻撃目標となりやすい。

【対策】 避難が必要な範囲は広範囲にわたり、遠方への避難が必要で、その期間も長期間になることが予想されます。なお、避難の経路や手段は、行政機関からの指示に従い適切に避難しましょう。

航空攻撃



【特徴】 弾道ミサイルに比べ、発射の兆候を察知することは比較的容易ですが、あらかじめ攻撃目標を特定することは困難です。

【対策】 屋内への避難が広範囲にわたって指示されることが考えられます。なお、屋内への避難は、堅牢な建物等に避難し、その後、行政機関からの指示に従い適切に避難しましょう。

※ 本記事については、国民保護ポータルサイト(kokuminhogo.go.jp)をもとに作成しています。

釧路方面厚岸警察署